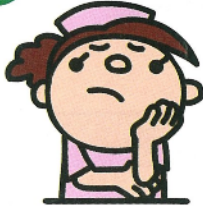


「子宮頸がん」って知っていますか？

どんな病気？



- ・子宮の入口付近「子宮頸部」にできるがん
- ・患者の4人に1人が20歳～30歳代
- ・ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染が主な原因
ほとんどが性交渉で感染
- ・自覚症状がないので気づきにくい
がんが早期の段階なら、子宮を全部とらなくていい

検診で早期発見ができる！



検診って？



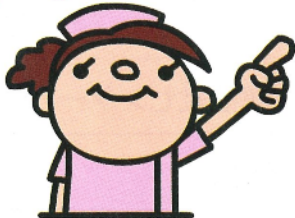
- ・問診、内診、子宮頸部細胞診を行う
綿棒などで、子宮頸部の細胞をこすり取る
短時間で、痛みもほとんどない
- ・定期的に検診を受けることで、がんになる前の段階で診断可能

何歳から受ければいいのか？



- ・20歳から、2年に1回の割合で受けよう

受けるにはどうするの？

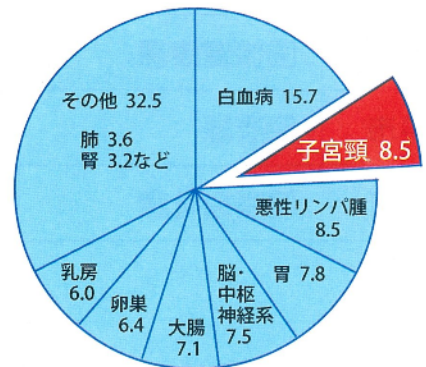


- ①市町の検診 → 住民票のある市町へお問い合わせを
(裏面参照)
市町での検診費用は、一部自己負担で700円～2,500円程度(市町により異なる)
- ②人間ドックなど(全額自己負担) →
婦人科等へお問い合わせを

☆子宮頸がん 罹患率(20歳代)



☆部位別に見たがん死亡割合(2009年 20歳代)



〈データ出典〉 国立がん研究センターがん対策情報センター

※罹患率：ある病気にかかった人の比率のことで、通常は1年間の10万人当たりで表現される